VI. 埋蔵文化財センターの活動

資料の貸出・提供

貸出先	目　的	遺跡名	貸出・提供資料		期間
美濃加茂市民ミュージアム	企画展「土に残る記憶III－弥生と古墳－」展示パネルに使用	朝日遺跡	遺構写真(環濠と方形周溝墓・乱杭・柵列・玉作工房跡・銅鐸出土状況) 遺物写真(銅鐸)	デジタルデータ6点提供	平成17.4.14
(株)新人物往来社	月刊『歴史読本』2005年8月号掲載	名古屋城三の丸遺跡	遺構写真(VI:戦国時代の遺構群)	デジタルデータ1点提供	平成17.6.2
(株)雄山閣	『季刊考古学』第92号掲載	川原遺跡	遺構写真(全景・方形周溝墓SZ01)	デジタルデータ3点提供	平成17.6.6
		猫島遺跡	遺構写真(方形周溝墓SZ05・環濠・SB01)		
西尾市教育委員会	岡島弥生資料館リーフレット及びホームページに使用	岡島遺跡	遺構写真(弥生時代中期の溝・水辺の祭り・竪穴住居・土器棺墓・中期中葉の方形周溝墓・後期の方形周溝墓)	転載許可	平成16.6.24
愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室	愛知県清洲貝殻山貝塚資料館平成17年度企画展示コーナー展示パネルに使用	朝日遺跡	遺構写真(SD101北西隅セクション)	デジタルデータ4点提供	平成16.7.5
		山中遺跡	全景(遺跡を北東上空から望む)		
		三ツ井遺跡	遺構写真(97Ab区　水田跡)		
		平手町遺跡	遺構写真(SD06セクションベルト)		
(株)新人物往来社	『中世都市研究11号　交流・物流・越境』に掲載	惣作・鐘場遺跡	遺構写真(集落域と大溝が巡る方形区画)	デジタルデータ1点提供	平成17.7.7
瀬戸市歴史民俗資料館	蔵展示「モリゾーと暮らすキッコロに託す　海上・山口」パンフレット・広報用写真に使用	吉野遺跡	遺構写真(調査区全景写真・SB02・柵状遺構復元CG)	デジタルデータ5点提供	平成17.7.15
		上品野遺跡	遺構写真(貯蔵穴・ドングリ出土状況)		
名古屋市博物館	特別展「古墳はなぜつくられたのか」展示図録及びパネルに使用	大毛池田遺跡	遺構写真(調査区全景)	6×7カラーポジ4点	平成17.8.12 〜 平成17.10.4
		廻間遺跡	遺構写真(SZ01)		
		西上免遺跡	遺構写真(調査区全景)		
		八王子遺跡	遺構写真(Ba区井泉検出状況)		
豊橋市美術博物館	市制施行100周年記念事業・築城500年記念展「吉田城と城下町」図録に掲載	吉田城遺跡	遺構写真(II:調査区全景・SE107断ち割り状況・III:屋敷地2中心部分)	6×7カラーポジ3点	平成17.9.6 〜
沼津市教育委員会	『沼津市史　通史編　原史・古代・中世』に掲載	麻生田大橋遺跡	遺物写真(樫王式の条痕文系大形壺)	転載許可	平成17.9.16
渥美町役場	『渥美町史　現代編』に掲載	川地遺跡	遺物写真(SK02出土首飾り復元) 図版(調査区設定図・縄文土器実測図・遺構全体図・遺構3・石器1)	転載許可	平成17.9.20
(株)吉川弘文館	『日本軍事史』に掲載	朝日遺跡	遺構写真(逆茂木出土)	デジタルデータ1点提供	平成17.9.30
愛知県豊田加茂建設事務所　足助支所	パンフレット「主要地方道　土岐足助線　榊野バイパス」に掲載	能見城跡	遺構写真(全景)	デジタルデータ1点提供	平成17.11.2
(株)学生社	＜ドイツ展記念概説＞『日本の考古学』に掲載	西上免遺跡	遺物写真(古墳出土土器)2点	使用許可	平成17.11.8
		朝日遺跡	図版(防禦施設)		
一宮市博物館	木曽川資料館展示リニューアル及び平成18年度企画展「山内一豊とゆかりの戦国武将展」展示・解説書及び広報資料に掲載	岩倉城遺跡	遺構写真(SD07)	デジタルデータ1点提供	平成17.11.8
(株)同成社	『日本の遺跡5　瀬戸窯跡群』に掲載	鷲窯跡	遺構写真(遺物出土状況)	デジタルデータ3点提供	平成17.10.21
		小田妻古窯跡群	遺構写真(調査区全景・遺物出土状況)		

貸出先	目　的	遺跡名	貸出・提供資料		期間
(財)瀬戸市文化振興財団	企画展「近世陶磁の消費遺跡－江戸・名古屋・京都・大坂－」図録等に掲載	名古屋城三の丸遺跡	遺構写真(V：名古屋城全景・IV：調査区全景)	プリント2点	平成17.11.17 〜
(株)碧水社	学習研究社発行　歴史群像デラックス『よみがえる真説安土城』に掲載	清洲城下町遺跡	遺構写真(検出された石垣)	デジタルデータ1点提供	平成17.11.30
岩倉市長	『岩倉市史　現代』に掲載	岩倉城遺跡	遺構写真(89AB区SD06・SD07・63B区SD03遺物出土状態・62A区SD03遺物出土状態) 遺物写真(戦国時代遺物2点・土師質皿・地蔵形木製品・絵馬・獅子頭)	デジタルデータ10点提供	平成17.12.19
(株)碧水社	学習研究社発行　歴史群像デラックス『よみがえる真説安土城』に掲載	名古屋城三の丸遺跡	遺構写真(V：大溝)	デジタルデータ1点提供	平成17.12.21
愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室	愛知県清洲貝殻山貝塚資料館平成17年度第3回企画展示コーナー展示パネルに使用	猫島遺跡	遺構写真(99B,Ca区全景・99Cb区全景・大型掘立柱建物SB01・方形周溝墓SZ05・墓壙SK41,43・竪穴住居SB06・弥生時代後期墳丘墓SZ001,002・SZ002遺物出土状況)	デジタルデータ8点提供	平成16.10.4
稲沢市教育委員会	稲沢市文化財パンフレット「文化財いなざわ」に掲載	一色青海遺跡	遺構写真(大型掘立柱建物跡SB17全景)	デジタルデータ1点提供	平成17.12.27
名古屋市市政資料館	「市史だより24」に掲載	牛牧遺跡	遺構写真(土器棺墓SZ24出土状態・土器棺墓SZ27出土状態)	デジタルデータ4点提供	平成18.1.9
		志賀公園遺跡	遺物写真(NR07黒色土層出土の土器群・NR07下層黒色土出土の土器群)		
さくら市ミュージアム荒井寛方記念館	企画展「四斗蒔遺跡の時代〜古墳時代の始まりと豪族の登場〜」出版物に掲載	朝日遺跡	遺構写真(上空・防御施設・乱杭・逆茂木) 遺物写真(パレス土器)	4×5カラーポジ1点/6×7カラーポジ4点	平成18.1.16 〜
		廻間遺跡	遺構写真(前方後方型墳丘墓)	6×7カラーポジ1点	
		西上免遺跡	遺構写真(94A区全景・西上免古墳2点)	6×7カラーポジ3点	
			遺物写真(銅鏃・古墳出土土器集合2点・壺152,153,138,139・S字状口縁台付甕200,202・舟形木製品)	4×5カラーポジ4点/6×7モノクロネガ8点	
			図版(古墳平面図・遺跡概念図・遺跡のイメージ)	転載許可	
		八王子遺跡	遺構写真(Ab区上面全景,SK73下層土器出土状況,SB04全景,SB10全景,Ba区NR01,SX05検出状況,)	6×7カラーポジ12点	
			遺物写真(集合写真2点・高杯2224,2234,台付甕2254,パレス壺2294)	6×7カラーポジ17点/デジタルデータ2点	
			図版(谷北岸遺構配置図)	転載許可	
(株)創樹社美術出版	情報誌「小さな蕾」4月号に掲載	鷲窯跡	遺物写真(陶製茶臼)	デジタルデータ1点提供	平成18.2.3
(株)中京テレビ映像企画	学校法人河合塾『河合サテライト講座』パーフェクト日本史B第1講で使用	一色青海遺跡	遺構写真(方形周溝墓)	デジタルデータ3点提供	平成18.2.6
		岡島遺跡	遺物写真(高杯)		
		川原遺跡	遺構写真(方形周溝墓)		

<<平成17年4月1日〜平成18年3月1日>>

現地説明会等

現地説明会

遺跡名	開催日	所在地	内容	参加者
姫下遺跡	2月11日(土)	安城市	弥生時代中期から平安時代にかけての集落遺跡を調査。多数の竪穴住居のほか、特に古墳時代前期の土器集積や河道 (大溝) を検出。出土土器・木製品を展示。	約310名

地元説明会

遺跡名	開催日	所在地	内容	参加者
鎌倉街道周辺遺跡	6月25日(土)	稲沢市	古墳時代から室町時代にかけての集落遺跡を調査。多数の竪穴住居や掘立柱建物のほか、井戸・溝等を検出。出土した須恵器・灰釉陶器・青磁などを展示。	約90名
御山寺遺跡	7月23日(土)	岩倉市	古墳時代から古代にかけての竪穴住居や、戦国時代の掘立柱建物・溝で区画された屋敷地のほか、水路状の大溝を検出。出土した須恵器・土師器・灰釉陶器・中近世陶磁器などを展示。	約80名
桑下東窯跡	11月23日(水)	瀬戸市	戦国時代(大窯期)の窯跡を調査。窯体の一部と作業場を検出。特に石敷の作業場は、窯業遺跡としては初例で注目される。碗・皿・鉢類と狛犬、窯道具等を展示。	約150名



姫下遺跡現地説明会

報告書作成のための遺物等の指導

日付	遺跡名	指導者（所属）
平成17年4月～18年3月	朝日遺跡・桜鐘古窯・中之郷北遺跡・上橋下遺跡	森　勇一（愛知県立津島東高等学校）
平成17年8月2日	中之郷北遺跡	城ケ谷和宏（愛知県立豊田南高等学校）
平成17年8月9日	瓶子窯跡	藤澤良祐（愛知学院大学）
平成17年8月9日	瓶子窯跡	金子健一（瀬戸市埋蔵文化財センター）
平成17年8月16日	桜鐘古窯群	中野晴久（常滑市民俗資料館）
平成17年8月22日	桜鐘古窯群	青木　修（瀬戸市埋蔵文化財センター）
平成17年9月8日	朝日遺跡	岡田　賢（大阪府教育委員会）
平成17年9月8・9日	朝日遺跡	山田昌久（首都大学東京）
平成17年10月11・12日	朝日遺跡	馬場伸一郎（国立歴史民俗博物館）
平成17年10月27・28日	朝日遺跡	馬場伸一郎（国立歴史民俗博物館）
平成17年12月27日	上橋下遺跡	藤澤良祐（愛知学院大学）
平成18年1月23日	朝日遺跡	岡田　賢（大阪府教育委員会）
平成18年1月23・24日	朝日遺跡	山田昌久（首都大学東京）
平成18年1月30日	夏敷古窯跡・蛇廻間古窯跡	中野晴久（常滑市民俗資料館）
平成18年1月30・31日	朝日遺跡	村上恭通（愛媛大学）

発掘調査現場における遺構・遺物等の指導

日付	遺跡名	指導者（所属）
平成17年8月25日	鎌倉街道周辺遺跡	楢崎彰一（瀬戸市埋蔵文化財センター）
平成17年12月22日	桑下東窯跡	柴垣勇夫（静岡大学）
平成18年2月8日	姫下遺跡	伊藤秋男（南山大学）
平成18年2月24日	朝日遺跡	深澤芳樹（奈良文化財研究所）
平成18年2月27・28日	朝日遺跡	七田忠昭（佐賀県教育庁）
平成18年3月13日	桑下東窯跡	楢崎彰一（瀬戸市埋蔵文化財センター）

研究会の活動報告

原始研究部会の活動

1.研究事項　設楽地域の考古学的調査
2.日程　7月29日(金)　豊根村教育委員会
　　7月30日(土)　設楽町立奥三河郷土館
3.活動の内容

設楽地域は、矢作川・豊川・天竜川水系が入り組み、三河地域南部(海岸域や渥美半島をも含む)・遠近地域・東濃地域・伊那地域の、文物・人の往来に関して起点となる地域である。当地域の考古学的調査は、先学によって愛知県内においても比較的早くから行われている。しかし、ここ近年においては遺跡の調査などが行われることが少なく、かつ各町村で収蔵されている考古資料の活用もそれほど容易ではない状況になっている。これらの資料の活用・再評価を行うことは、上述したような広域的検討を行う上で重要のみならず、地勢上、遺跡立地が限られるため、未発見の遺跡が想定されながらも、地域内における遺跡間関係を検討する上で良いモデルケースになると考えられる。

今回の資料実見では、縄文時代後晩期の遺跡・遺物に焦点を当て、特に土器の様相・石器の器種および石材の状況を中心に行った。今後も同様の調査を継続の予定である。　(川添和暁)


遺跡見学（大名倉遺跡）


設楽町立奥三河郷土館での調査

中・近世研究部会の活動

平成17年度の活動は、平成16年度に引き続き、中世の尾張国冨田荘関連の調査と当センター及び愛知県内において実施している発掘調査現場の視察を中心に実施した。

尾張国冨田荘関連の調査では、現地視察として七宝町川部地域を踏査し、遺物の散布状態と地形的環境について観察した。また地籍図の調査では海部郡大治町、七宝町に続き、冨田荘絵図の北側にある海部郡甚目寺町と旧西春日井郡新川町（現清須市）の地籍図のデジタル化図化作業を行った。その成果として平成17年度の『研究紀要』において加藤博紀による論考として結実した。

発掘調査現場の視察では、岩倉市御山寺遺跡、瀬戸市桑下東窯跡、小牧市上御園遺跡等の見学を実施し、知見を深めた。　（蔭山誠一）





遺跡見学（桑下東窯跡）



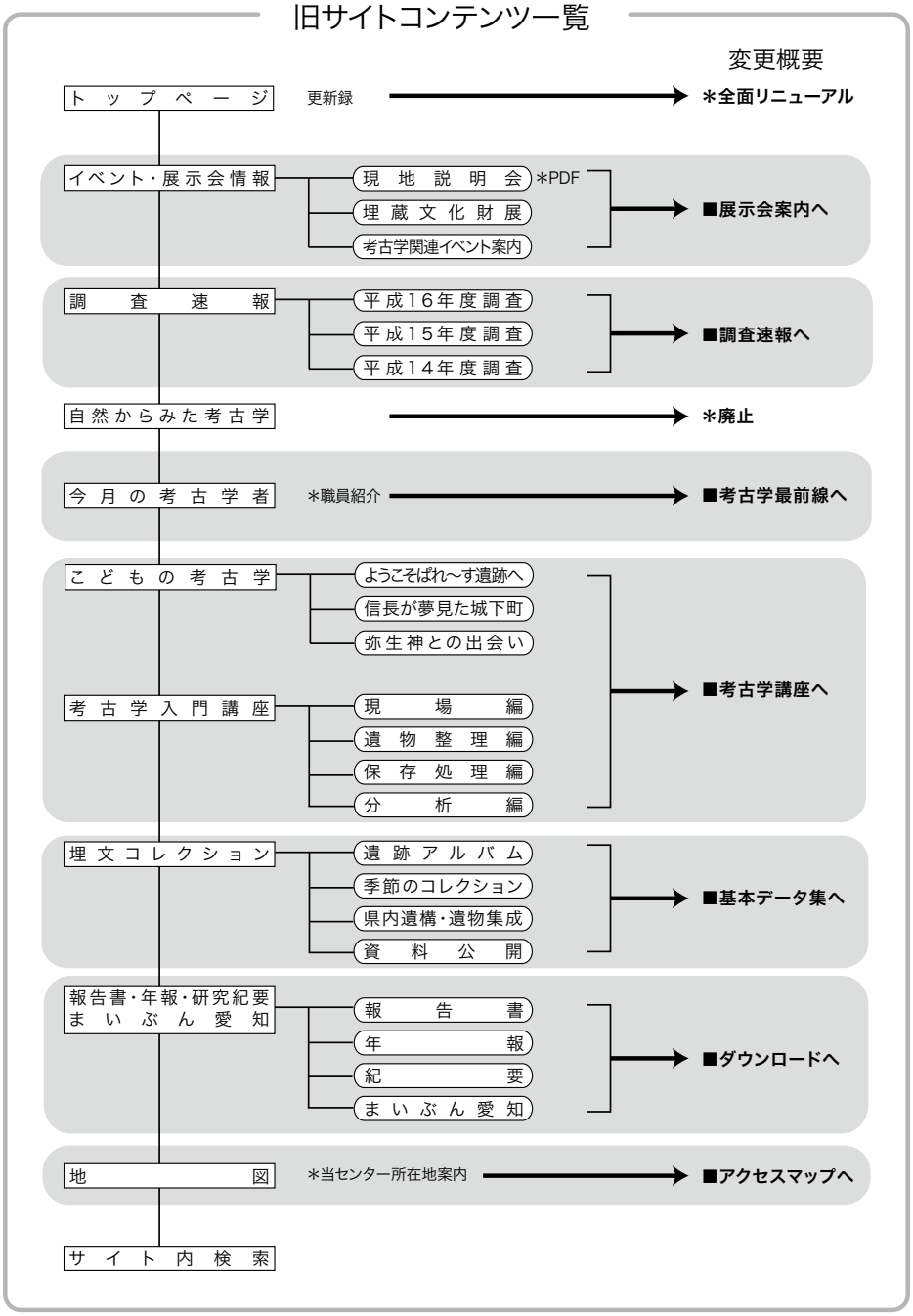
冨田荘関連地域地籍図

ホームページ

Webコンテンツリニューアル

平成17年６月６日より、サーバの移転に際し、コンテンツの見直しを実施。サーバーの容量は、40Gから80Gへ大幅に増量。稼働システムとして従来のWebサーバに加え, PHPおよびMySQLを稼働させWebデータベースを活用できる環境とした。コンテンツ作成については、CSSによるhtmlの作成に加え、PHPによるデータベース機能およびCMSの導入を行った。Weblogツールを活用することにより、これまで以上に多くの情報を提供することができた。また、一般の方が各記事についてコメントを付加することができるため、従来のコンテンツでは得られない情報交換ができた。　（堀木真美子）

旧サイトコンテンツ一覧





旧トップページ



新トップページ

新サイトコンテンツ一覧 (平成17年6月6日以降)

- トップページ
  - 最新トピックス
  - 考古学講座
    - こどもの考古学
      - ようこそぱれ〜ず遺跡へ
      - 信長が夢見た城下町
      - 弥生神との出会い
    - 考古学入門
      - 現場編
      - 遺物整理編
      - 保存処理編
      - 分析編
    - 考古学最前線
  - 基本データ集
    - 調査速報
    - 遺跡アルバム
    - 資料公開
    - 展示会案内
  - ダウンロード
    - 報告書 ＊第90集以降はPDFダウンロード可能 それ以前はCDコピーサービスにて頒布
    - 年報 ＊目次は全て掲載 平成11〜16年度はPDFダウンロード可能
    - 紀要 ＊1号〜5号は各論文ごとにPDFダウンロード可能
    - 情報 ＊no.20のみPDFダウンロード可能
    - まいぶん愛知 ＊no.41〜72PDFダウンロード可能
    - 現地説明会資料 ＊PDFダウンロード可能
  - お問い合わせ
  - アクセスマップ
  - 各事業者の方へ

Web 更新データ

●エントリー数

発掘調査	29 件
お知らせ	61 件
研究報告	7 件
調査速報	9 件
資料公開	8 件

●寄せられたコメント（非公開を含む） 9 件

●公開ファイル

報告書 PDF	50 本
報告書概要	26 本
情報 PDF	1 本
現地説明会 PDF	9 本
紀要 PDF	39 本
まいぶん愛知 PDF	32 本
年報 PDF	108 本
遺跡アルバム	37 遺跡
	1,125 件



エントリー



報告書概要

CDコピーサービス (H17.4.1～H18.2.3)

	コピーファイル				
1	032朝日3	033朝日4	073西上免	079一色青海	
2	034朝日5	083朝日6			
3	030朝日1	031朝日2	032朝日3	034朝日5	
4	003勝川	015三の丸1	016三の丸2	017清洲1	027清洲2
5	075大縄				
6	003勝川	015三の丸1	019三の丸1	024池下	029勝川
7	078吉田城	082毛受	086大脇城	089岩作	097大脇2
8	015三の丸1	016三の丸2	037三の丸3	044三の丸4	060三の丸5
9	020松崎	037三の丸3	044三の丸4	048松河戸	060三の丸5
10	010廻間	015三の丸1	016三の丸2	021麻生田	024池下
11	030朝日1	033朝日4	083朝日6		
12	044三の丸4	060三の丸5			
13	030朝日1	034朝日5			
14	086大脇城	097大脇2			
15	086大脇城	097大脇2			
16	111木戸城･古新田				
17	111木戸城･古新田				
18	015三の丸1	016三の丸2	037三の丸3	044三の丸4	060三の丸5
19	010廻間	040山中	034朝日5	052堀之内	
20	010廻間	040山中	048松河戸	073西上免	080門間沼
21	050清洲3	053清洲4	054清洲5	065清洲6	070清洲7
22	034朝日5	080門間沼	083朝日6		
23	053清洲4	054清洲5			
24	030朝日1	031朝日2	032朝日3	033朝日4	
25	034朝日5	083朝日6			
26	045山中2	048松河戸	073西上免	079一色青海	

平成17年度　愛知県埋蔵文化財センター　組織一覧

運営協議会委員

伊藤秋男	南山大学教授
上村喜久子	名古屋短期大学名誉教授
大澤義洋	愛知県都市教育長協議会会長 瀬戸市教育委員会教育長
柴垣勇夫	静岡大学生涯学習教育研究センター長
諏訪兼位	日本福祉大学学園顧問 名古屋大学名誉教授
長谷川純一	愛知県教育委員会生涯学習監
毛利光俊彦	独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター長
渡辺　誠	山梨県立考古博物館長 山梨県立埋蔵文化財センター長 名古屋大学名誉教授

専門委員

考古学	楢崎彰一	(財)瀬戸市埋蔵文化財センター所長 名古屋大学名誉教授
考古学	伊藤秋男	南山大学教授
文献史学	福岡猛志	日本福祉大学副学長 日本福祉大学附属高等学校長
地理学	海津正倫	名古屋大学教授
建築史学	窪寺　茂	独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所　建造物室長
考古学 **動物学** **植物学**	渡辺　誠	山梨県立考古博物館長 山梨県立埋蔵文化財センター所長 名古屋大学名誉教授
形質人類学	多賀谷　昭	長野県看護大学教授
保存科学	肥塚隆保	独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所埋蔵文化財センター 保存修復科学研究室長
岩石学	諏訪兼位	名古屋大学名誉教授
木材組織学	木方洋二	名古屋大学名誉教授

所　長　金井正樹

管理課

課長補佐	橋本　昇	
主　査	西田勝憲	
主　事	中澤保裕	高桑大輔
	細木克彦	

調査課

課　長	福岡晃彦	
主任主査	赤塚次郎	
主　査	石黒立人	小澤一弘
	宮腰健司	酒井俊彦
	池本正明	
主　任	松田　訓	鈴木正貴
	樋上　昇	
調査研究員	鵜飼雅弘	加藤博紀
	堀木真美子	永井宏幸
	鬼頭　剛	武部真木
	蔭山誠一	川添和暁
	永井邦仁	早野浩二

本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の
２万５千分の１地形図を複製したものである。
（承認番号　平17部複　第303号）

年報　平成17年度

平成18年3月
編集・発行(財)愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
印　刷　西濃印刷 株式会社

本書は再生紙を使用しています。